



# elementum

第4号

2022年7月12日発行

文責：村岡 和彦

函館はこの1か月で急に夏らしくなりました。校舎の周辺は一気に緑が茂って、エゾリスが木から木へと移動しながら活発に活動する姿が見られます。この暑さにより、7月1日から生徒達はポロシャツで登校し始めています。暑いと言っても27°C程度ですので、関東以南の方々からすると「涼しいでしょ！」と思われるかもしれません、寮生の体は既に北海道仕様に変化しているので、夏休み中に体調を崩さぬよう気をつけて欲しい所です。

これから季節は、学園祭・夏期補習・夏季休業と、保護者の方々のお力添えをお願いすることが多いかと思われます。ご子息から学校でのことを色々と聞いていただくと同時に、保護者の皆様からもたくさんのアドバイスをどうぞよろしくお願いいたします。

## 1. 「前期第二中間試験」が終わりました

中学校に入学して2回目の定期試験が終わりました。前回は初めてということもあり、どのような準備をすればよいのか困惑していた生徒が少なくなかったようですが、今回は上手に対策できましたか？大幅アップを遂げた教科があった生徒がいたのは、次につながる大変良い材料です。また、放課後の補習で教えてもらったところはしっかりと得点できましたか？せっかく時間をかけて取り組んだのですから、なんとかして結果につなげたいところです。うまく得点につながらなかった生徒はきっと、「わかったつもり」で終わってしまっているのです。「紙に書ける」・「他の人に教えられる」まで到達して初めて「理解できた」と言えます。



「まあ、これくらいやっておけば大丈夫だろう」といった妥協は、実は大変恐ろしいものなのです。なぜなら、時間をかけたのに結果に結びつかないと、人は無気力になってしまうからです。これに慣れてしまうと、そこから抜け出すのは本当に大変です。だからこそ、「必ず結果につなげるのだ」という気概を持って日々全力で勉強に励み、「やつたらできた」を積み重ねていくことが大切なのです。このことを片時も忘れないこと！

## 2. 4月に実施された学力推移調査(ベネッセ)について

前回の発送には間に合わなかった全国集計結果が掲載された成績表をお送りいたします。次の学力推移調査は10月22日(土)に予定されています。「日々の授業→小テスト→定期試験→夏休みの学習→実力試験→学力推移調査→・・・→大学入試」のように、すべてつながっていることを今から理解しながら学習に励んでください。

## 3. 遠足へ行つきました

当初予定の日は大雨で順延となりましたが、6月2日(木)にはなんとか実施することができました。感染対策としてバスで山頂へ向かい、景色を楽しん

だ後は要塞跡を見学し、広場(千畳敷)で昼食をとりました。そこでは1時間以上ひたすらボール遊びをしている生徒が多くいて、下山の体力が残っているか心配でした

が、全員無事に学校へ戻ることができました。大きなケガはありませんでしたが、ドクガにより手の甲を痛めてしまった生徒が1名おりました。今年はドクガやマイマイガが大量発生しているようですので、夏休みに遊びに出掛ける際などにも十分に気をつけてください。



## 4. 学園祭が近づいております

中Ⅰでは両クラスとも「ピタゴラ装置を作る」という共通テーマを与え、各クラスで工夫して「ピタゴラ・サークル 1号 & 2号」を作成します。限られた準備期間でどこまでできるか期待と不安が半々・・・いえ、3:7くらいですが、なんとか間に合わせてくれると信じています。仲間と力を合わせ、皆で頑張りましょう。

今年度の一般公開は「在校生のご家族のみ」となっております。混雑を避けるために、以下のように来校時間を定めておりますので、保護者の皆様にはご協力くださいますようお願いいたします。

	中学生	高校生
1日目 7/16(土)	13:00~14:00	14:00~15:00
2日目 7/17(日)	09:00~10:30 13:00~14:00	10:30~12:00 14:00~15:00



## 5. 保護者会について

この機会に多くの保護者の方々と情報交換させてもらえばと思います。

### ① 主に自宅生の保護者の方対象

7/19(火)~22(金)は5時間授業とし、面談期間を設定しております。クラス担任と日時のご相談をお願いいたします。

### ② 寄宿生の保護者の方対象

教員が各地域へ伺う「移動保護者会」を開催いたします。日程・地域・中Ⅰ担当教諭（学校・寮）は以下の通りです。詳細な日時や場所の詳細は各支部からご連絡があるかと思われます。

- 7/30(土) 東京（村岡・吉村）、札幌・日胆（大門・岩渕）
- 7/31(日) 大阪（村岡・吉村）、名古屋（大門・岩渕）、盛岡（松永・工藤寮母）

## 6. 夏期補習について

7月24日(日)~29日(金)の6日間、夏期補習を実施します。71名中62名から参加希望が出され、「標準・応用コース」と「基礎コース」に分かれて学習に取り組みます。高校と同じ1コマ70分ですが中Ⅰ生には少々酷ですので、「30分・休憩10分・30分」のように分け、演習や解説を行います。ここで得たことが夏季休業中の学習や、その後の実力試験の結果につながることを願っています。

なお、夏期補習は、夏季休業期間中にもかかわらず個々の生徒の意思で参加することを決めているので、補習期間中に学校・寮規則を破ったり、また他の生徒への迷惑な言動を繰り返したりする場合は、以後の補習参加を認めず、寄宿生の場合には途中で帰省してもらうことになります。参加する生徒はしっかりと目標を持ち、高い意欲を持ち続け集中して取り組んでください。頑張る姿に期待しています。

## 7. 夏季休業について

7月24日(日)~8月16日(火)は夏季休業です。数学と英語を中心に課題をドッサリ出しますので、計画的に進めてください。保護者の方々におかれましては、ご子息の家庭学習の様子をしっかりと把握していただきながら、ペースメーカーとして働きかけていただくようお願いいたします。

また、学校・寮のスタッフが最も懸念するのが、「ゲーム・ネット依存」です。必ず家庭内でルール（例えば、「使う際には自分の部屋ではなくリビングで」、「1日に30分×●セットまで」のような）を決め、順守させてください。これがルールになると、「学習時間の不足・生活リズムの乱れ・依存」につながり、寄宿生は夏休み明けにこっそりと寮に持ち込むようなことになりかねません。寄宿生の保護者の方にはご子息の帰寮日、スマートフォンやゲーム機等、函館に持つて行かない物を確実に家に置いていっていることを念入りにご確認くださいますようお願いいたします。

## 8. 今後の日程について

月	日	内容
7	12(火)	午前は平常授業、午後は学園祭準備（15:45 放課予定、作業により居残りあり）
	13(水)	午前は平常授業、午後は学園祭準備（14:55 放課予定、作業により居残りあり）
	14(木)	午前は平常授業、午後は学園祭準備（15:45 放課予定、作業により居残りあり）
	15(金)	授業なし、終日学園祭準備（15:45 放課予定、作業により居残りあり）
	16(土)	学園祭 1 日目（いつも通り登校、放課は 17:00 前後の見通しです）
	17(日)	学園祭 2 日目（いつも通り登校、放課は 17:00 前後の見通しです）
	18(月)	海の日（学校はお休みです）
	19(火)	保護者面談期間開始（5 時間授業、13:55 放課）
	23(土)	授業なし、夏季休業前の集会、その後、補習最終日の 4 限の授業を振替（正午頃に放課予定）
	24(日)	夏期補習開始（いつも通り登校、28 日(土)までは自宅生は昼食が必要、14:20 過ぎに放課予定）
	29(金)	夏期補習終了（いつも通り登校、11:05 放課予定）
8	16(火)	寮生の帰寮日
	17(水)	1 限集会、その後は 6 限まで平常授業
	20(土)	実力試験（国語・数学・英語の 3 教科）
9	12(月)	前期末試験 1 日目（※期末試験は、中学生も 3 日の日程です。実技系の教科も実施されます。）
	13(火)	前期末試験 2 日目
	14(水)	前期末試験 3 日目

～おわりに～

先日の理科の授業で、ガスバーナーの操作を教えました。最近は、「危ないから」という理由でマッチを使わせない学校が増えていますが、それは子供たちが学ぶ機会を大人が奪っていることに他なりません。「どうすれば危険か」、「仕組みを理解し、考えて操作すれば大丈夫」という経験や学習は、これから生きていく上で必要なことです。マッチで少々熱い思いをした生徒が何名かいましたが、きっとこれから先、マッチで大火傷をすることはないはずです。ガスバーナーもすべて分解して見せましたから、その構造と操作方法を結び付けて考えられるようになっていることでしょう。



以上のような、

- ① 軽く傷ついても、その経験を次に生かすことができれば、将来の大ケガは防ぐことができる。
  - ② 考えることを面倒がらず、どんなことでも理由・原因・構造などから考察すれば、物事を上手く処理できる。
- という経験は、人間関係の構築についてもきっと役に立ちます。生徒達の間にあるちょっとした摩擦はすべて教材であり、それを周囲の大人がすべて「いじめだ」とみなすことで、彼らから人間関係を学ぶ教材を奪いかねません（※もしもまったく思い当たる節がないのにしつこい攻撃を受け続けるようがあればそれは大問題ですので、学校・寮のスタッフは迅速に問題行動を引き起こした生徒の指導にあたります）。なぜ摩擦が生じたのかを考えさせ、双方に原因がある場合にはそれぞれに反省を促し、行動につなげさせて成長が期待できます。



ただし、トラブルの内容は様々ですし、個々の生徒の成長スピードは千差万別です。時にはスムーズに解決に至らないケースもあるでしょうから、生徒の皆さんも保護者の方々も、心配事や不安があればまず、学校や寮のスタッフにご相談ください。

